

臨床心理士 坂本大河先生の保健講話「心について」

1月16日(火)の全体朝会で、宜野座村教育委員会の臨床心理士 坂本大河先生を講師に(写真1)、「心について」と題して、保健講話を実施しました。

「心について」のお話は、「心はありますか?」という問いでスタートしました。さらに、「心はどんな大きさでどんな形をして、どんな色なんでしょう?」と子ども達に聞きました。でも、子ども達はそのことを不思議そうな顔で見つめていました。色や大きさ、形が分からなくても、今日は自分の心が動くのを感じてほしいとお話を続けました。そのために、「顔ゲーム」を行いました。坂本先生の指示に従って、うれしい顔、おこった顔、驚いた顔、かなしい顔の表情をしていきました。そのゲームをすることで、おもしろいと思ったり、わからないと思ったり、おもしろくないと思ったり、顔の表情をつくるのが恥ずかしいと思ったりする心の動きを感じている子ども達がいきました。

坂本先生は、形も大きさも色もわからない心だけど、表情を帰るだけでも、心が動いたことがわかるように、このことを思い出して、授業を受けるときや行動をするときに自分の心の動きを感じてくださいと結びました。

心のことについての専門家の坂本先生、学校訪問のさい、子ども達の相談や保護者の相談にのっていただき、本当にありがとうございます。そして、きょうは、子ども達のために「心について」お話していただき、本当にありがとうございました。



写真3 講師の坂本先生



写真4 保健講話の様子



写真5 保健講話を静かに聞く子ども達

児童の感想

○表情を変える事で、心が動いたりすることがわかりました。表情で心を表せるので、そのことも意識していきたいです。(6年 女子)

○ゲームで表情を変えたりしました。みんなの心は目には見えないけど、顔の表情で心を表すことができるので、表情で心を伝えたいと思います。(6年 女子)

○心は表情を変えるだけでも動かせることがわかりました。自分でも表情を変えてみて、心を動かしてみたいと思いました。(6年 男子)

○心は色、形、大きさは見えないけど、表情には心が表れることがわかりました。表情も意識して、自分の心の動きを感じていきたいです。(6年 男子)

新しい松の苗木が植え付けられました

1月12日(金)の雨の降る中、新しい松の苗木の植え付けが行われました。

3年前から毎年10本ずつの若木が植えられており、今年で4年目を迎えます。

老木である松の近くに若木があると、その老木も活性化されるそうです。推定樹齢100年以上の松の中に、新しく仲間入りした10本の若木が成長する様子とその周りの木々の変化を見守っていきたいと思います。

ぜひ、松田小学校へお寄りの際は、校門近くの若木の成長の様子もご覧下さい。



写真6 植え付けの様子

村駅伝大会で奈穂さん、晴貴さん 区間賞

去る1月14日(日)に開催された第25回宜野座村駅伝競走大会で松田区代表として、1区を走った6年生の仲村奈穂さん、2区を走った同じく6年生の當眞晴貴さん。二人とも、区間賞に輝く素晴らしい走りを見せてくれ、見事2年連続の優勝を果たしました。

今年も、小学生、中学生、高校生の活躍が光っていたということです。

校内持久走大会でもみせたすばらしい走りを駅伝でもみごと披露することのできた奈穂さん、晴貴さん、区間賞おめでとございます。



アーツデザインスタジオ
©. Kazuhiro Tada